

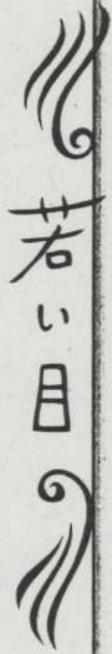
よく生きる

鹿児島東高1年

上籠 璃桜

学校でソクラテスについて学習した。そこで、自分なりに「よく生きる」ということについて考えてみた。

私が考えるよく生きる



若い目

とは、さまざまな経験や苦勞などして生きるということだと思う。

私は4月に高校に入学して早々、大きな壁にぶつかってしまった、それは人間関係だ。環境が変わり周りはほとんど知ら

ない子たち。私は自分から話しかけることができず、一人になってしまっ

た。それまで学校で、あまり一人になることがなかった私にとって、とてもつらい状況だった。そんなある日、一人で

いた私にしゃべりかけてくれた子がいた。高校生

になってはじめて友達ができ、学校生活が楽しくなった。私はその子と話すようになるまで、自分から話しかける努力をしなかつた。人はいろいろな経験をして、いろいろなことを学び、成長して

いくことに気づいた。

「よく生きる」ということは、「自分の行動や言動を見直していろいろな経験をし、学び、努力をする」ことであり、人として成長していくということだと考える。これから本格的に始まる高校生活で、あたり前

のことをしっかりとできるようになりたい。

(鹿児島市)